



医院風景

予防・メンテナンスの 重要性を地域に浸透させたい

石川歯科医院

院長 石川毅彦さん

石川歯科の院長、石川毅彦さんにお話を伺った。

石川歯科は、平成三年に開院。当初は虫歯治療と入れ歯作成が中心であったが、現在は予防歯科・歯周病治療に力を入れている。

十年前、介護審査員を務めたとき、要介護認定を受ける方々の様子に愕然としたそうだ。「彼らには、等しく歯がなかったのです」といわれる。歯周病で歯を失っていたのだ。実は成人の八割は歯周病。しかし、痛みがないので多くの人は気づかず、歯周病は進行していくばかり。

十年前のこの経験から、それまで以上に歯周病治療、そして予防歯科の大切さを認識

するようになった。「歯周病を治し、予防歯科に力を入れることで、多くの方の健康長寿に貢献できれば、と思っています。笑顔があふれる、幸福な社会になっていけばいいですね。」と話される

「いろいろな施設の高齢者に『楽しみはなんですか?』と尋ねてみると、五割以上の方が『食べること!』とおっしゃいます。歯をなくすと確実にQOLが低下します。(QOL: Quality of Life 『生活の質』と訳され、人間らしく、満足して生活しているかを評価する概念のこと) 入れ歯にはストレスが伴います。ご飯がおいしくないと言われる方が多いですね。インプラント

院長／担当：歯周病、予防歯科、入れ歯(左)

副院長(奥様：孝子さん)／担当：矯正歯科、インプラント、小児歯科(右)



